

第28回全県500歳野球大会抽選会

8月24日 午後2時～
秋田市文化会館

プレ550歳野球大会3チーム交流試合

第7号
2006
7月



かがやき

第7号の
みどころ

- プレ全県550歳野球大会
- 第21回県還暦軟式野球大会
- 第28回都市500歳野球大会
- 続・500歳野球の原点に返って



今年も熱い夏がやってくる！

全県550歳野球大会前哨戦 3チーム交流試合・プレ全県550歳野球大会

毎年8月に大仙市南外で開催される「魁星旗争奪全県550歳大会」へ出場するチームの交流と親睦を深めることを目的とする交流試合を「かがやき」編集部が主催、3チームを選抜し6月11日に大仙市南外山村運動広場（全県550歳大会の主会場）にて開催しました。



孫が応援に来た！頑張らなくっちゃ！
神宮寺嶽クラブ・小笠原路選手



八郎潟セイルズ・三戸賢一投手（70歳）
バットを利用して種周りを鍛えています。」



土崎くらぶ・佐藤節選手、
打って走って見事好プレー受賞。



神宮寺嶽クラブ・高谷英雄コーチ（63歳）
「息子や孫に勝たせたくない自分であり続けたいと思っています。」



二連勝お慶に早々と一人祝杯をあげる八郎潟セイルズ・小野広助監督「勝利の美酒は格別！」



珍プレーに思わず爆笑！
土崎くらぶ・泉和男会長。

神宮寺嶽クラブ (大仙市)

全県550歳野球大会では第1回大会から出場の地元老舗チーム。昨年の全県550歳野球大会では強豪に快勝。今年も「少年野球発祥の地」の名にかけて上位進出を狙う！

八郎潟セイルズ (八郎潟町)

平成3年に結成されたチームも今年で16年目。全県550歳野球大会では準優勝1回、ベスト4が1回、ベスト16が2回の戦績。近年好調・破竹の勢いで全県550歳大会に臨む！

土崎くらぶ (秋田市)

今年創部36年目を迎えた伝統あるチーム。全県550歳野球大会では第2回大会から参加し優勝2回・準優勝3回、全県550歳野球大会では準優勝2回の実績を誇る。今年こそ550歳大会で初の優勝を勝ちとれるか！



全県550歳野球大会3チーム交流試合

【試合の結果】

第一試合

土崎くらぶ 2-3 八郎潟セイルズ

第二試合

八郎潟セイルズ 6-5 神宮寺嶽クラブ

第三試合

土崎くらぶ 7-7 神宮寺嶽クラブ

個人賞 …別紙参照



7月4日、秋田魁新報社で行われた抽選会

灼熱のグラウンドで
強豪24チームが激突！
第14回 魁星旗争奪
全県550歳野球大会
会期：平成18年8月5～7日
主会場：南外山村運動広場
（「トーナメント別紙参照」）
選手も観客も「かがやきスタンプ」も
熱中症にはご注意ください！

第21回 秋田県選暦軟式野球大会

4連覇!! 秋田還球クラブ

7月8日、秋田県選暦軟式野球大会が能代市・三種町・八峰町で行われました。今年で21回を迎えるこの大会には35チームが参加し、秋田還球クラブが見事4連覇を達成しました。

10日の決勝戦では、秋田還球・田中投手・高清水ク・藤内投手の両エースが先発、1点を争う好試合が展開。試合が大きく動いたのは5回、好投を続ける高清水ク・藤内投手に沈黙を続けた秋田還球打線が目覚まします。横山選手の同点タイムリ、桜庭選手の逆転3塁打で3点をもぎ取り、2回の1失点でしのだ秋田還球・田中投手が要所を締めて4連覇の栄冠に輝きました。



大変な試合が続きましたが、全員野球の優勝だったと思います。選手皆が大変よくやってくれました。感謝しています。」

秋田還球クラブ・奈良吉丸監督「去年今年と人数不足が悩みの種でした。今年もけが人も多



決勝戦前に選手。秋田還球クラブ・村田英太郎(左)と高清水野球クラブ・須田文天(右)



残念ながら1回戦五城目OBに敗戦の大館桂友クラブ・島山安則監督へお話を伺いました。

野球暦は中学校から始め、5年前に高山さんがチームを結成したそうです。現在、市内リーグなどに参加しています。「練習不足と試合数の少さ、今日の大大会にはケガのため3人もやすすで。来年は新たに4人入るから、気持ちを切り替えてやっていきたい。来年こそは...。」と意気込みを語ってくれました。

【結果：別紙参照】

今年は秋田市で開催

第8回

全日本選抜選暦軟式野球大会

開催日：9月1日～4日

主会場：秋田市営八橋硬式野球場

24都道府県 44チーム参加

県内参加チーム

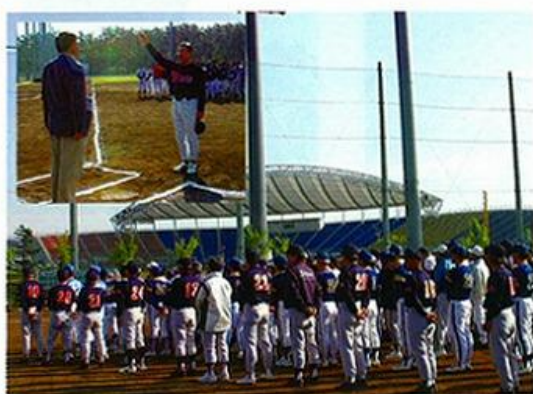
比内クラブ・大館グリーンクラブ

オール大湯・角館クラブ・横手クラブ

秋田市500歳
野球大会開催中

爽やかな五月晴れの5月21日早朝、第3回秋田市500歳野球大会(秋田市500歳野球協会主催)の開会式が向浜4面球場で開催されました。今年参加は18チーム。2組にわかれ、8月一杯までリーグ戦で戦います。リーグ優勝の2チームが対決し、勝者は青森県むつ市で開催される東北生涯野球大会の出場権をGET。昨年は秋銀クラブが出場し、見事優勝!今年ほどのチームが東北大会の切符を手にする事が出来るでしょうか。3ヶ月の長丁場です。皆さんマイペースで怪我や事故に注意して頑張ってください!

【途中結果：別紙参照】



昨年優勝 秋銀ク・奈良元久(右)による選手宣誓

ホームページでチームを紹介 チームの士気を高めます!

かがやきがあなたのチームのホームページを制作&管理します。

基本セット

規定の5ページ&web容量50Mバイトまで、年間管理・更新含む
..... 初期費用2万円

セット内容

- TOP (NEWSやお知らせ、活躍した選手紹介など)
- チーム概要 (創部からの歴史・練習予定・チームのモットー、目標など)
- 登録選手 (背番号・ポジション・氏名・年齢・主な経歴など)
- 今シーズンの試合状況 (試合の予定、結果など)
- 写真館 (かがやき取材班が撮影した写真を提供します)

お気軽にご相談ください

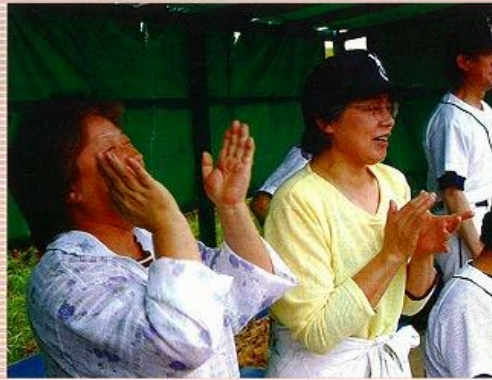


球 IN 大仙市営大曲球場

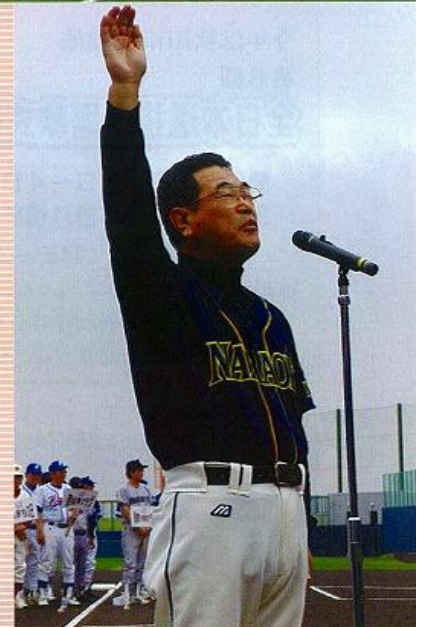
大曲クラブ・角間川角球クラブ・藤木クラブ・花館クラブ



ひととき元気な声援！四ツ屋ベースボール倶楽部の女性ベンチサポーター！
熱烈な応援に選手も大奮闘



突然の雨にもブレ！は続行！仙南クラブ VS 鷲野



堂々の初体験！
選手宣誓 楢岡クラブ・打川一主将

試合の結果は別紙参照
もっと知りたい → かがやきHPで/
<http://b500.jp>

最後にご自身の野球暦を伺うと『野球は大好きだが、私は野球が下手だから審判員として試合に参加していません』と笑いながら答えてくれました。



石川審判部長（左から3番目）と五城目審判部の皆さん

【ルールに精通すること、経験をつむこと（数多くの試合をこなすこと）を徹底するように心がけ指導を重ねています。『野球ルールもL型からクロスワイズへと国際化が進んでいます。それに伴い研修ではしっかり学ばなくては いけませんね』と向上心も人一倍のようです。

最後にご自身の野球暦を伺うと『野球は大好きだが、私は野球が下手だから審判員として試合に参加していません』と笑いながら答えてくれました。

MR. ジャンジャン
(南秋田支部 / 五城目審判部)

14回目を迎えた五城目町500歳野球大会を支える、秋田県野球協会審判部南秋田支部 / 五城目審判部(28名)・石川昭一審判部長にお話を伺いました。最初に五城目審判部の様子を伺うと、即座に『まとまりが良くて全員協力的です』との答えと、県審判部の中でも草分け的な存在の南秋田支部をとて誇りにされているお話を聞くことが出来ました。部員は全員が学童野球を始めとする各種大会に飛び回りながらも、役員会、納会、伝達研修と常に審判としてのレベルアップとコミュニケーション作りも欠かしません。審判部長として部員の方々は公認審判員を目指し、『ルールに精通すること、経験をつむこと（数多くの試合をこなすこと）を徹底するように心がけ指導を重ねています。『野球ルールもL型からクロスワイズへと国際化が進んでいます。それに伴い研修ではしっかり学ばなくては いけませんね』と向上心も人一倍のようです。

第28回都市500歳野球

参加27チーム 7月1日～3日 主管：大曲クラブ



優勝は2チーム揃って二連覇！大曲ウ&神岡大浦クOB
昨年同様、決勝戦は雨に流れました



二打席連続三塁打を放った、田沢湖駒陽・真崎保雄選手。二度目の長距離全力走で「あぁ〜、疲れた〜！」



Mrs. ジャッジマン

開会式ではアナウンス、球場では審判員としてキレイのいいジャッジをしていたかと思ったら、いつの間にかウグイス嬢に变身！県南唯一の女性審判員・嶋崎明美さん（秋田県野球協会審判部大曲支部）が大活躍。

審判の資格は平成7年に取得、旦那様と2人の息子さんも審判員の審判一家だとか！これから更に野球シーズン、来年には国体も控えてお忙しくなるとは思いますがご家族揃ってガンバってください！



3日目5試合すべてを一人でアナウンスした大曲クラブ所属の菅原高さんウグイス嬢ならぬウグイス爺？（失礼しました!!）



【第14回五城目町500歳野球大会の結果：別紙参照】

全県500歳野球大会の目標：「練習はウソをつかないので、しっかり練習してBEST16〜8強」

チームの感想：「新人の加入（6名程）もありますが、まだまだ試合に全員が顔を揃える処までには到っていません。ピッチャーがもう1枚加わることで上位進出が可能なチームだと思います。試合する以上は、勝つ野球を目指します」

野球暦：「中・高・ノンプロ（帝石）と50年にはなるかな。守備位置はピッチャー・サードで打線の核としてクリーンナップも務めさせてもらいました。現在は五城目OB監督の傍ら秋田還球のシフトをやらせてもらっています」

今年のチーム事情をお聞きしようとすると、周りにいるチームの方からすぐ合いの手が入ります。「外野がうるさいから、成績が悪いとすぐクビにされるな（笑）」

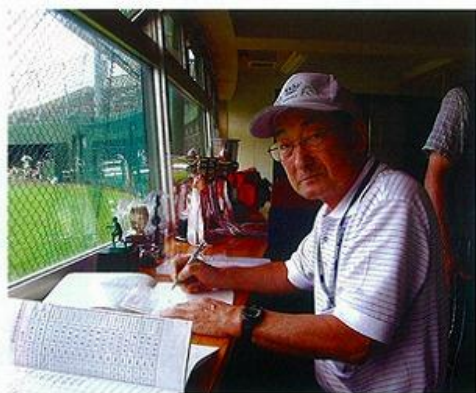


技術があっても練習しなければ元に戻ってしまうと若い師匠加藤監督

新監督に聞く!!
五城目OB
加藤政光 監督(62歳)

我が人生……。野球と共に！③

能代ベースボールマンの会事務局長 浅野 峰太郎氏



「考えてみれば、いつも土、日になれば野球場に来ていたナ。」と思いついたように語る浅野峰太郎さんは、能代ベースボールマンの会の事務局長であり、球場の世話から連絡係までこなす、第二十七回全県選抜野球大会の影の立役者。

試合当日、雨模様であればあったで、グラウンドコンディションが心配。天気が良ければ良いで、早朝からイチ早く球場に来て大会資料を一つひとつチェック、電源・マイク・スピーカーのテスト。そして試合がスムーズに出来るようにベースの塁間確認、ライン引きなどの球場整備をひとり黙々と始めていくと、ちらりほらりと関係者が集まり

始めます。開会式の時間が迫ると、浅野さんはことさら急がしくなり、審判をはじめ、大会関係者との最終協議をしている中でも、色々な所から「浅野さん。浅野さん。」と声を掛けられ体がいくらあっても足りない位。

「浅野さん。かがやき」に載せたいので写真を撮らせてください。」とお願いをいしカメラを向けると、また大会関係者から「チョット！チョット！浅野さん！」と、声が掛かりグラウンドに引き出され、初日は写すことが出来ません。最終日の三日目によりやく少し時間を頂いてお話を伺うと「俺は野球が大好きで、こうしてグラウンドに来ると気持ちも身体もスツキリする。家族サービスで、子供達をどこかに連れて行った事なんて、まったく記憶が無いな。良く我慢していてくれてると心の中では家内に感謝している。アッ！九月二日、三日と能代ベースボールマンの会の大会があるから取材に来てくれよ。

そうそう、能代高校野球部の記念誌が出来たのでついでにそれも載せてくれよ。」と忙しい中にもバッチリ宣伝する事は忘れません。照れ隠しで話題をそらすものの、さりげなく奥様への感謝の気持ちを表す浅野さん。話し終るとまた忙しくグラウンドへ飛び出していきます。

続・500歳野球の原点に返って

全県500歳野球大会 第一号ホームラン！

昭和54年、第一回全県500歳野球大会(8チーム参加一回戦第一試合・秋鉄OB対神宮寺嶽クラブの試合で、記念すべき大会第一号ホームランを放った神宮寺嶽クラブの高橋精力さん(秋田市・80歳)。

精力さんは定年退職された翌年、病気で不自由な身体になってしまいました。だが、お顔色も良く、がっちりとした体格からはスポーツマンだった当時の姿が思い起こされます。

「子供の頃、ユニフォーム姿で出かける父の姿が印象深く残っています。」と語るのは息子の精一郎さん。当時は何チームも掛け持ちして所属し、ユニフォームも数着あったとか。強靱な動



記憶の格を手にして

物的？感覚の持ち主で、「アニマル」と呼ばれていたそうです。甥の児玉庄司さん(四ツ屋BB倶楽部)は、「現在の大きくなった大会の開会式を一目見せてあげたい」と熱い想いで情報を提供して下さいました。当時の仲間とグラウンドで再会できたらどんなに嬉しいでしょう。

是非、体調を整えて大会へおいでください！

お詫びと訂正

かがやき6号に掲載「早春大館樹海ドーム 中高年野球を楽しむ交流ツアー」の記事で、記念品贈呈者の記載に誤りがありました。

×ホームラン賞・横手混成(横手クラブ)村上藤一郎氏

○ホームラン賞・横手混成(十字球友会)村上哲朗氏

訂正してお詫び致します。

村上さんは横手混成チームで3番・捕手で活躍しました。

村上さん間違ってお詫び致します！

500歳野球誕生のキツカケ ②

大仙市野球連盟神岡支部 理事長 伊藤 久氏

その頃（昭和五十三年）、高橋政泰氏は会社重役として東京支社長等を努め多忙をきわめており、町を留守にすることが度々でした。

しかし秋田県野球協会会長として県野球界のリーダーとして活躍されておられることは同氏の地元同級生達にとっては誇りであり自慢でありました。秋田中学校時代の三回にわたる甲子園大会への出場や東京農大での一部界格の原動力となったこと、帰県してからは東肥野球部の全盛時代を築きプレーイングマネージャーとして活躍されたと言ふ様な輝かしい球歴の同氏と一緒にプレイすることは、憧れのスタープレイヤーと野球が出来る子供心と同じだと思われました。

その後、練習をお手伝いし側面から見ていても、童心に帰り身体全体で楽しんでることが強く感じられ、「神宮寺の爺さん」方の野球に対する思い入れは半端でなく、これが伝統とか歴史というものかなあと思えたり、既存のルールに一寸した遊び心を加えれば高齢者でもこんな野球の楽しみ方も出来ることも確認した二十九年前でした。

五十四年に始まった第一回都市500歳野球大会は評判がよく、運良く神宮寺嶽クラブが優勝（政泰氏も神宮寺嶽クラブで出場）、同年の10月に第一回全

県500歳野球大会が産声を挙げました。

既存の学童野球ルールに、「50歳〜55歳まで3イニング、56歳以上はフリー」として【選手交代は自由】の二項目を加えただけでした。50歳〜55歳までは帽子に黄色のリボン、56歳以上は赤リボンを付けて試合していただいたことも懐かしい思い出です。投手交代については、大会当初は55歳までは1回〜3回、56歳以上はフリーと解釈しておりましたが、これを覆したのは船川OBチームでした。第何回大会か不明ですが1回、3回、5回を若手の55歳までの投手を起用し（アウト9の解釈）、対戦チームからそんな投手交代は大会規則違反とクレームがつき、大会委員長（魁事業局長伊藤強氏）が、今風に言うと、「船川OBの解釈は想定外だが間違っていない。」と裁定し、それ以降の投手交代（アウト9）が主流となった次第です。



第10回記念大会（昭和63年）神岡球場にて高橋政泰氏（左）・伊藤久氏（右）

ご来場ありがとうございました！

「かがやき」写真展・全県500歳野球～永遠の球児たち～

5月3日(水)～4日(木) 秋田市拠点センター「アルパ・きらめき広場」で開催



全県500歳野球大会第1回～10回まで参加の秋鉄OB（秋田市）に所属していた伊藤努さん(84)

「新聞を見て懐かしく、居ても立ってもいられなくてやって来た」杖を手に一人でご来場くださいました。

- 「毎年開催してくれ！この写真を見ているだけで何かパワーを貰える気がする。」
- 「仲間と花見に行く途中だが思い出して立ち寄った。」
- 「今度ウチのチームにも来てくれよ。」
- 「主人も26回大会まで参加していたが、昨年亡くなった。野球をしている時の写真があればと思って・・・。」
- 「知り合いが出ているので探したら写ってました！」
- 「孫にじいちゃんのユニフォーム姿の写真をみせたくて。」

皆様に喜んでいただけるとあらば毎年開催します！

クロスワードパズル

1		6		12		17
			7	10		
2	5					15
3						
			8	11		16
			9			13
4						14

よこのかき
 よこ1 三塁手と遊撃手の中間後方(外野)。「レフト」ともいう。
 よこ2 一塁と三塁の間で守る。○○○手。「ショート」ともいう。
 よこ3 旧近鉄ハッファローズの球団マスコットは○○がモチーフ。
 よこ4 ファーストとセカンドの中間後方(外野)。「ライト」ともいう。
 よこ7 雷鳴をこもった激しい雨。○○○のため、金属バット禁止。
 よこ8 秋田わか杉団体系○○ーサル大会が開催されています。
 よこ9 試合の経過や得点を記録する係。記録員。
 よこ12 ヒットまたは横打にならぬ打撃。また、その打球。
 よこ14 二死満塁○○○ダンフルベース
 よこ15 5連勝で波に○○。
 よこ16 あのピッチャーは○○○のいい球を投げぬ。

たてのかき
 たて1 選手賞の最高峰。「MVP」ともいう。
 たて5 よこ3と同じ。
 たて6 伊良部秀樹投手(ロッテ)→米大リーグ(阪神)のあだ名。海に揺れる透明な……。たて8 ○○○を伴う。
 たて10 猛打で○○の根を止める。
 たて11 日本初の社会人野球チーム。○○○オーシャン倶楽部(北海道・明治40年)
 たて12 ワイルドピッチのことを○○○といいます。
 たて13 今年も○○い夏がやってくる!
 たて16 巨人○○○と呼ばれた金田正一さん。(65勝)
 たて17 「グッツ」。「重殺」。「併殺」のこと。



★解き方
 ヒントをもとにクロスワードパズルを解いてください。青の文字を並べ替えるご答えが出てきます。好きな選手からもらったら嬉しいなあ

答 ○○○○○○

★応募のきまり
 ●応募の締め切り 8月15日必着
 ●応募方法 官製はがきまたはFAXに、①答え ②住所 ③氏名 ④野球関係者は所属チーム名など ⑤本誌の感想 ⑥その他(ご意見・ご希望)をお書きの上、〒019-1701 秋田県大仙市神宮寺字荒屋17-4 FAX 0187-7212731 までお送りください。



★プレゼント
 正解者の中から抽選で5名様 に「サッポロ★ビール」ドラフトトワン」を差し上げます。
★当選発表・発送
 次号「かがやき8号」にて掲載し、発送いたします。

編集後記

夏の高校野球、秋商VS本荘の好カード、よこてグリーンスタジアムが壊れてしまふんじやないかというほど観客が溢れました。私も観客席の階段によくぐんぐん落ちて観戦してきました。結果は皆さんもご存知の通りですが、500歳野球もいつかこんなにくさん(いや、この半分……1/3でも……)の観客に声援を受けて試合ができたならなんて思ってきました。どうしたら……日々頭を悩ませています(笑) 編集部M



“一球入魂”

今年も熱い試合を期待しています。



東北醤油株式会社・大仙市 神宮寺
 TEL 0187-72-2020(代) http://www.touhoku-syoyu.co.jp/